

仙台デザイン専門学校
令和元年度 学校関係者評価報告書
(実施日 令和2年5月27日)

令和2年5月

学校法人 北杜学園
仙台デザイン専門学校

1. 「学校関係者評価」の実施方法について

学校法人北杜学園仙台デザイン専門学校の学校関係者評価については、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施・作成した。「令和元年度自己点検評価報告書」について、仙台デザイン専門学校に関係の深い業界等の評価委員に評価を受けました。

各評価委員には、事前に「自己点検評価報告書」及び「学校評価」に関連する資料等を配布したうえでご意見等を聴取いたしました。

各評価委員から頂戴いたしました貴重なご意見など今後の学校運営や学校教育の場で活かして行き、「デザインする心」を持った有能なる人材育成に努めて参りたいと存じます。

なお、令和元年度 自己点検評価報告書を併せてご覧ください。

令和2年5月
学校法人北杜学園
仙台デザイン専門学校
校長 宮城 和吉

2. 学校関係者評価委員一覧表

氏名	選出区分	職名等	備考
及川 光雄	関連業界	高橋印刷株式会社 代表取締役社長	外部委員
徐 碩教	関連業界	株式会社 プルメデザインラボ 代表取締役社長	外部委員
古川 哲哉	学識経験者	東北工業大学ライフデザイン学部 産業デザイン学科 准教授	外部委員

3. 基準評価ごとの学校関係者評価・意見

(1) 教育理念・目的

【現状及び課題】

- 教育目標や教育理念、将来像等は学生便覧に掲載し、新入生ガイダンスにおいて学生にしっかりと伝え、指導している。また、保護者に対しても同資料を配布し、本学の概要について周知に努めている。外部への周知については北杜学園ホームページ上に仙台デザイン専門学校として展開しており、更に本校ブログにより学生生活や学修成果、イベントに至るまで幅広く告知を行っている。
- 令和元年度よりシラバスのガイドライン作成やシラバスのフォームの刷新を図り、授業計画に活かしている。

【関係者評価・意見】

- デザインを通して社会に貢献する心が通う教育が大変良いと思われる。
- 学内にデザイン性のある創作品が満載でよい好印象を与えている。
- 教育理念、教育目標や教育方針を明確に定め、学生ならびに保護者に対して学生便覧を配布し、情報公開をしっかりしている。また、websiteにおいて情報公開ページを設置し、時代に合わせた取り組みを適切に行っていると考えている。

(2) 学校運営

【現状及び課題】

- 学園方針に則り年度目標を定め、就職内定率、資格取得率、退学防止等を設定し、教職員が団結、協力して業務に取り組んでいる。また、シラバスや履修時間を確認し、各項目において自己点検を実施しており、コンプライアンスに努めている。
- 教育活動に関する情報はHP等で適時公開しているが、令和元年度よりシラバス等の情報公開を行っている。
- 具体的な教育内容等については学校案内パンフレット、学校HPを通して関係業界や地域社会及び入学希望者等に向けて最新情報を発信している。
- 学校財務情報、学校自己点検評価、学校関係者評価については文部科学省のガイドライン等に従って、適切に公開している。

【関係者評価・意見】

- レベルの高い学校運営をされていることが高い就職内定率に表れている。
- 予算や資金計画に則り、適切な運営管理がされている。また、運営や教育でコンプライアンスが遵守されている。
- 毎年趣向を凝らした学校案内パンフレットなどを通し、効果的に最新情報を発信していると思われる。

(3) 教育活動

【現状及び課題】

- 教育理念、業界ニーズを踏まえた人材育成の観点から、カリキュラムの見直しを行い、必要に応じて整備している。
- 授業評価においては学生による授業評価アンケートを毎年実施し、各教員へフィードバックしている。これにより、授業方法や学生対応、授業資料等の改善等に努めることができ、学生の授業満足度を向上することが出来る。これらのことを踏まえて外部講師による就職ガイダンス等実施している。また、面接等の試験結果を求人先よりフィードバックを受け、学生支援の一助としている。

【関係者評価・意見】

- 学生に対し授業評価アンケートを実施していることは非常に良いことである。
- 時代に合わせ PIXIV 展開や SNS での活発な活動など、大変良い対応がされていると思われる。
- 今の流れの知識がないとツイッターなどで配信されているような資料は作成できないと思うので、日々研究していることが伝わっている。

(4) 学修成果

【現状及び課題】

- 担任制のため、学生指導、生活指導や面談、相談等にきめ細かく対応できている。保護者との連絡も密に行っており、情報も共有している。
- 就職率向上については、経験者が優遇されるデザイン業界の厳しい採用状況に対応するため、就職活動の実践的なカリキュラムとして、1年次に必修科目「就職指導Ⅰ」にて、社会人としてのマナー・心構え・自己分析を行い、2年次には選択科目として「就職指導Ⅱ」で履歴書作成・面接指導等企業対応の指導を実施し就職率向上につなげている。
- 就職内定者の向上を目指すためには、就職担当者、学生及び担任との連携が不可欠であり、今後の担任の指導力に期待する。
- 退学者の中で高等学校までの不登校や生活習慣、精神的特性に社会・業界とのギャップがあり、退学に至るケースが少なくない。その差をどの程度まで埋め、モチベーションを維持しつづけられるかが退学率低減の鍵となる。なお、該当する学生へのフォローやケアを強化し、不登校にならないよう予防に努めている。

【関係者評価・意見】

- 学修成果が資格取得にも表れているので良いと思われる。
- 学生指導や生活指導などをきめ細かく行い、保護者との連携が密に行われており、安心できる態勢であると感じた。
- モチベーション維持は大学でも大きな問題であるが、教員が負担しきれない部分もあるため、外部カウンセリングなどを利用することも考えられる。

(5) 学生支援

【現状及び課題】

- 各担任、教科担当者が学生本人および保護者と連携し、デザイン関連業界で幅広く活躍できる技術の習得に励んでいる。また、定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告、問題があると判断される場合は保護者面談等も実施している。
- 学園全体での取り組みとして、独自の奨学金制度や寮・アパートの斡旋など、学生への経済面・生活面に対する支援を行うとともに、学園本部に学生相談室を設け、さまざまな悩みに対するカウンセリングを行い、精神面における支援も行っている。
- 学生の気質を考慮して、令和元年度より週1回学内に学生相談室を設け、従来ある学生相談室と併用して、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。
- 職業理解をはじめガイダンス等への参加や教育環境の開放等も実施、中高校生等へのキャリア教育推進にも努めている。
- 社会の動きや就職活動を取り巻く現状認識が低く、就職活動を先送りする傾向が強い学生のため、効果的な現場の声として、スタートアップセミナー・内定者講話・OB講話・企業講話・就職相談会・各種就職ガイダンス等を開催し、学生の意識改革に継続的に取り組んでいる。

【関係者評価・意見】

- 学生相談室を設け、学生の悩みなどに対応していることは、非常に良いことである。
- 学生に対する支援については弊社でインターンをしていた学生からも聞いていて好印象を持っている。
- 学園全体での取り組みとして、学生への経済面・生活面に対する支援を行っていることを確認した。
- 学生支援が昨年度から更に手厚くなっていることに感激した。

(6) 学修成果

【現状及び課題】

- 職業人を輩出するために、より高度な職業教育、実践教育を目指してパソコンやデザインツールの更なる充実を図る必要がある。ネットワーク環境については各HRに無線LANを配備し利便性の向上に努めている
- 令和元年度にWEB教室のパソコンの新規購入し、教育設備の更なる向上が見込まれる。
- 学校消防計画及び安全計画などの防災に対する体制が整備されている。

【関係者評価・意見】

- デザインのツールとしてパソコン、ITを取り入れた授業が主流になり教育設備が充実している。
- 教育環境の整備が時代に即して適切に実施されている。
- 今後のソフトウェアの更新を課題に挙げている点は、今後の教育環境を見据えていることでもあり、学生にとって大変心強いであろうと感じた。

(7) 学生の受入れ募集

【現状及び課題】

- 学校案内やホームページ、学校説明会、模擬授業、その他進学情報誌等に掲載する情報ならびに説明表現については、真実性、公平性、明瞭性を考慮して公開している。また、資格取得実績や就職、卒業生

の活躍等の教育成果についても「個人情報公表に関する同意書」に基づき公開している。

- 学納金は、教育内容、学生本人および保護者の負担感を考慮したうえ設定し、募集要項に明記している。

【関係者評価・意見】

- 学校案内、ホームページを活用して学生募集に全力を上げられている結果が多く学生の入学に表れていると思われま。
- ツイッターなどでの情報発信されていることは、現代における受け入れに適した対応だと思います。
- 参考動画などもよくできている印象で、本校へ進学を想定している学生に目を引くものとしては、十分かと思われる。
- 広報活動が適切に行われている。また学校案内パンフレット、website、学校施設で一貫性を持った広報となっていると感じられる。
- 教育成果も適切にSNSで更新されており、正確な情報伝達がなされていると感じられる。

(8) 財務

【現状及び課題】

- 財務に関して、本校は堅調な運営の結果、過去3か年度(平成29年度～令和元年度)にわたり、帰属収支差額は黒字で推移しており、安定した財務基盤を有している。また、予算・収支計画は過年度の財務状況に照らして、有効かつ適正に行われている。
- 会計監査については、監事が、理事会及び評議員会に出席し意見を述べ、また、学校法人の業務及び財産の状況について監査し、毎会計年度後、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2ヶ月以内に理事会及び評議員会へ提出している。
- 学園全体として、監事の監査を支援するために、学校法人運営状況の定期報告、公認会計士及び内部監査の担当部署として設置している業務監査室との意見交換、学校法人制度の最新情報の提供などを行っている。

【関係者評価・意見】

- 学校経営を黒字で行われているので非常に良いと思われま。
- 学校全体として財務状況が適切にwebsiteで情報公開されており、非常に健全な状況であると理解できる。

(9) 法令等の遵守

【現状及び課題】

- 全教職員は学園が掲げるコンプライアンスの意識をもち、各業務にあたっている。また、定期的に自己評価を行い、日々の業務等における問題点がないか確認・改善に努めている。ただし評価結果については内部チェックにとどまり、外部に向けて広く開示されてはならず、今後公開に向けての改善が課題となる。
- 個人情報保護に関しては、「学校法人北杜学園 個人情報保護規定」に基づき、学園が有する個人情報については、学園プライバシー・ポリシー(個人情報保護方針)に基づく適正な保護の実現を図っており、

資格取得実績や就職、在校生・卒業生の活躍等の教育成果等「個人情報公表に関する同意書」による同意を得た上で事実に基づき公開している。

【関係者評価・意見】

- 教職員のコンプライアンスに対する意識が高く法令等の遵守は適切な運営がされていると思われま
- 今後も継続して教育業務や事務業務を遂行して貰いたいし、私自身も襟を正すよい機会となった。
- 特に問題はないと思われま

(10) 社会貢献・地域貢献

【現状及び課題】

- 本校は、社会に貢献しうるデザインマインドを持った人材育成を目標としており、日々の鍛錬において習得したデザインスキルを以って、社会貢献・地域貢献を目指し、社会活動や地域活動を推奨している。パブリシティを考慮した課題テーマや、各地方自治体や企業・団体等からの依頼に基づくテーマを取り上げるなど幅広く社会のニーズに対応している。
- 企業との連携により、企業主催のデザインコンペの企画に協賛し授業課題として作品を仕上げ、その作品を出展し実績を上げている。
- 現在、テクノロジーが加速度的に進んでいる中で、学校でデザインを学ぶだけでは足りなくなっていると思われる。もちろん基本的なデザインの知識はとても重要であるがそれに加え、新しいメディアやデバイスなどに即座に対応出来る様に、常に新しい手法を学び続ける事が必要とされる。

【関係者評価・意見】

- 社会へ立派に教育したデザイナーを送り出し、社会貢献していると思われま
- 学生

《外部委員からの総評》

- 大変立派な教育をされていると思いま
 - いつもの通り良い対応がされていますし、体制がしっかりと整っていると判断しました。毎年少し変わった学生たちが増えてくるかと思いま
 - COVID-19の影響が大きく、教育の最適な提供を日々模索する中で、外部委員評価の実施のために尽力をいただいたことに大変感謝しております。またSNSを拝見し、このような中でも学生とコミュニケーションを取りながら教育に尽力している教職員の皆様方の様子に感銘を受けていま
- 昨年度に引き継ぎ、学校案内パンフレット・学生便覧・自己点検評価報告書を拝見させていただきました。教育においてPDCAサイクルが確実に回り、デザイン分野の教育の質向上が成されていることを、具体的な事例で理解することができました。日々の中ではなかなか見えない部分を学ばせていただいていますこと、感謝申し上げます。